第 4 章　目標を達成するための実施事業

4-1　事業体系

基本方針に基づいた施策目標及び、施策について体系的に整理しました。

伊賀市では、地域ごとに人口構成や移動ニーズ、地理的条件が異なることから、地域の実情に応じた交通手段を検討し、持続可能な交通サービスを確保していくことが重要です。また、将来にわたり公共交通を維持していくためには、交通事業者や行政だけでなく、市民や地域が関わり、地域全体で公共交通を支える仕組みづくりが不可欠です。

基本方針２を重点方針として推進させるため、「地域の実情に応じた交通手段の検討」と「公共交通を地域で守る仕組みづくり」を重点施策として位置づけました。

基本理念	基本方針	施策目標		施策	事業主体					
					市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
すべてのひとが幸せにくらせる　伊賀市の地域公共交通 ～みんなで支える　みんなが気軽におでかけできる　ネットワークづくり～	基本方針１ すべてのひとの生活の質を上げる公共交通ネットワークの形成	1-1	骨格となる公共交通ネットワークの維持・改善	1．伊賀鉄道の持続的な事業推進		○	○			
				2．バス路線の維持・改善	○	○		○		
		1-2	都市間をつなぐ広域交通の強化	3．ＪＲ関西本線、草津線および近鉄大阪線のサービス維持		○	○			○
				4．高速バス路線の維持		○		○		○
				5．隣接市町村との連携強化	○	○	○	○	○	○
	基本方針２ みんなで支える持続可能な交通体系の構築	2-1	地域の交通手段の確保	6．地域の実情に応じた交通手段の検討 重点施策	○	○	○	○	○	○
		2-2	持続可能性の向上に向けた環境整備	7．公共交通を地域で守る仕組みづくり 重点施策	○	○	○	○	○	○
		2-3	地域公共交通に対する地域や企業・団体等との連携強化	8．伊賀鉄道の支援・魅力づくりの継続・強化	○	○	○			○
				9．バス交通の支援・魅力づくりの継続・強化	○	○		○		○
		2-4	公共交通の認知度・理解度の向上	10．小・中学生や高校生を対象としたモビリティ・マネジメントの展開		○	○	○		○
				11．市内事業所を対象としたモビリティ・マネジメントの展開		○	○	○		○
	基本方針３ 分かりやすく、便利な、利用につながる公共交通サービスの充実	3-1	利用しやすさの向上に向けた分かりやすい路線・乗換案内の充実	12．分かりやすい情報の発信		○	○	○		
				13．利用しやすい運賃制度の構築		○	○	○		
		3-2	乗り継ぎしやすさの向上に向けた便利な乗継環境の充実	14．乗り継ぎしやすいダイヤ設定		○	○	○		
				15．鉄道駅の結節機能の向上	○	○	○	○		○
				16．安全・安心・快適な利用環境整備	○	○	○	○	○	○
		3-3	地域公共交通で外出しやすい利用につながる環境づくり	17．二次交通の充実による公共交通の利用促進や利便性向上		○	○	○	○	○
				18．高齢者等への移動支援の充実	○	○	○	○	○	○
				19．タクシー事業者との連携強化		○			○	
				20．新たなモビリティサービスの積極導入	○	○	○	○	○	○

4-2　事業内容

目標を達成するために実施する各事業について示します。

基本方針１　すべてのひとの生活の質を上げる　公共交通ネットワークの形成

施策目標１－１　骨格となる公共交通ネットワークの維持・改善

施策１	伊賀鉄道の持続的な事業推進
施策概要	鉄道事業再構築実施計画に基づき、安全運行及び経営改善に取り組みます。
事業	①　鉄道事業運営の補助 ②　鉄道事業再構築実施計画の推進 ③　安全安心で安定的な運行 ④　鉄道施設の適正な維持管理

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
	○	○			

スケジュール

事業番号	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
① ② ③ ④	継続的に実施									



伊賀鉄道

施策２	バス路線の維持・改善
施策概要	公共交通軸である既存バス路線のサービスレベルを維持するほか、伊賀市で定める見直し手順に基づき、全てのバス交通について持続可能な交通サービスに向けた改善に取り組みます。
事業	①　公共交通軸である既存バス路線の運送サービスの維持 ②　見直し手順に基づき、全てのバス交通について持続性と地域のモビリティ向上の両面から改善検討

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
○	○		○		

スケジュール

事業番号	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
①	継続的に実施									
②	状況を踏まえ随時実施									



三重交通路線バス

画像：三重交通提供



コミュニティバス「にんまる」



いがまち行政サービス巡回車

施策３　ＪＲ関西本線、草津線および近鉄大阪線のサービス維持

施策概要

大阪・京都・奈良や名古屋都市圏、近隣市町村を結ぶＪＲ関西本線、草津線、近鉄大阪線について、サービスレベルを維持していきます。

事業

① 鉄道事業者及び沿線自治体との連携による利用促進
② 関西本線活性化利用促進三重県会議の合意事項への取組み
③ ＪＲ関西本線の電化・運行本数維持・接続改善への要望活動を継続
④ 利便性確保のため運行本数維持等を鉄道事業者へ要請
⑤ 駅でのサービスレベルの維持を要請
⑥ 鉄道サービスの充実状況に関するタイムリーな情報提供の推進

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
	○	○			○

スケジュール




関西本線活性化利用促進三重県会議の様子



関西本線沿線ウォーキングイベントの様子

施策 4	高速バス路線の維持
施策概要	現在運行している高速バス「名古屋上野高速線」の利用促進を行い、路線維持に取り組みます。
事業	①　お得な乗車券などの PR による利用促進活動の実施

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
	○		○		○

スケジュール

事業番号	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
①	継続的に実施									



名古屋上野高速線



名古屋上野高速線のチラシ

画像：三重交通提供

施策 5	隣接市町村との連携強化
施策概要	隣接市町村などと連携し、公共交通サービスの向上と利用促進に向けた取組みを検討します。 また、リニア中央新幹線の開業を見据え、隣接市町村と連携しながら、リニア三重県駅を核とした広域ネットワークの構築を検討します。
事業	①　他市町村と連携したサービス向上の検討と利用促進活動の実施 ②　他市町村への新たな路線網の創出検討 ③　リニア三重県駅を核とした広域ネットワーク構築の検討

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
○	○	○	○	○	○

スケジュール

事業番号	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
①			検討・調整							
②		検討・調整				状況を踏まえ実施				
③		継続的に実施					状況を踏まえ実施			



伊賀市・甲賀市・亀山市の連携による鉄道イベントチラシ

基本方針２ ｜ みんなで支える　持続可能な交通体系の構築

施策目標２－１　　地域の交通手段の確保

重点施策

施策６	地域の実情に応じた交通手段の検討
施策概要	地域の移動ニーズを詳細に把握することで、適切な交通サービスを配置し、持続可能な地域の交通を検討します。
事業	①　地域生活交通（行政バス）の再構築 （AI オンデマンド運行など定時定路線型以外の運行形態の検討） ②　交通空白地の解消 （公共ライドシェア等新しい運行形態の導入の検討） ③　多様な交通手段の活用の検討 （スクールバス、福祉有償運送、企業などの送迎バスの活用検討）

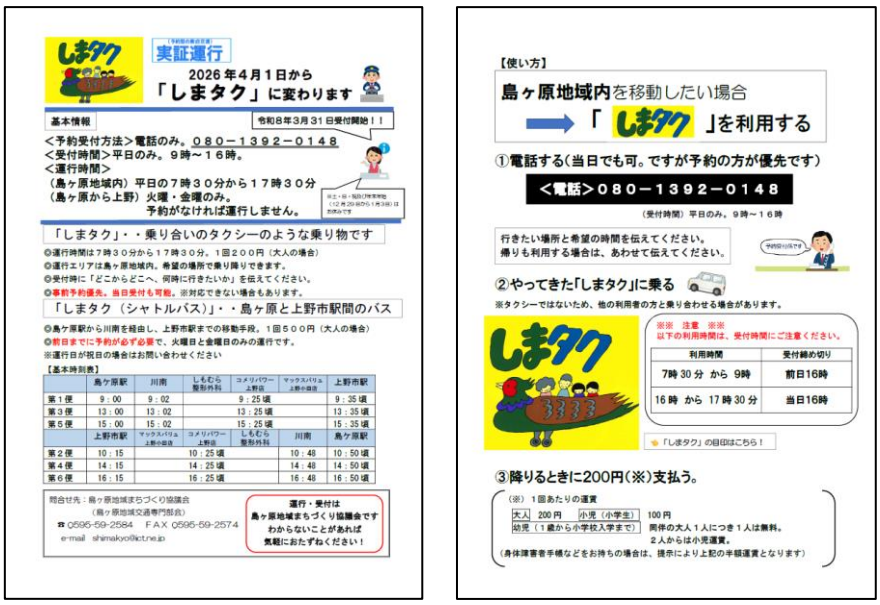
事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
○	○	○	○	○	○

スケジュール

事業番号	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
① ② ③	継続的に実施									

伊賀市と島ヶ原地域まちづくり協議会で協議を重ね、伊賀市初のデマンド型運行を令和５年度に導入しました。令和８年度からは、車両の小型化を行い、乗降ポイントを廃止した、ドア・ツー・ドアの乗合交通「しまタク」として改編しました。地域が主体で協議し、運行について考えることで、地域のニーズにあった移動手段の確保を進めることができます。



「しまタク」ご利用案内

施策目標２－２　持続可能性の向上に向けた環境整備

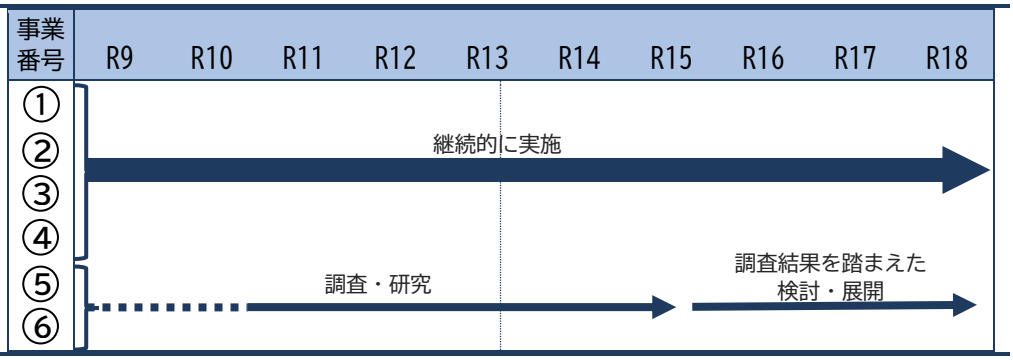
重点施策

施策７	公共交通を地域で守る仕組みづくり
施策概要	交通事業者だけでなくみんなで公共交通を支える仕組みを構築します。 市は地域の取組を伴走支援していきます。
事業	①　地域の公共交通を考える組織づくりへの取組み ②　公共交通の日常的な利用に関する理解促進や機運醸成への取組み ③　地域運行バス制度の充実と推進 ④　地域が安心安全に運行できる体制の構築 ⑤　運転手確保対策の検討 ⑥　新たな安定的財源の確保に向けた検討

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
○	○	○	○	○	○

スケジュール



「かんべ北斗号」は、地域で運行協議会を立ち上げ、ルートやダイヤ等、すべて自分たちで決めて運行している、地域運行バスです。市の補助制度を活用し、運行事業者と協力しながら、令和８年度には安定的な運行継続のため運賃改定するなど、地域が主体となって公共交通を支える仕組みを構築しています。



かんべ北斗号パンフレット

施策目標２－３　地域公共交通に対する地域や企業・団体等との連携強化

施策８	伊賀鉄道の支援・魅力づくりの継続・強化
施策概要	伊賀鉄道が移動手段だけでなく、伊賀市の重要な資源であることを市民の方に認識してもらえるよう利用促進や魅力づくりを進めます。
事業	①　マイレール意識向上に向けた情報発信 ②　イベント等の企画・実施 ③　車内装飾・グッズ作成販売 ④　SNS 等による広報 ⑤　駅・車両の利活用促進 ⑥　枕木・つり革のオーナー制度、ネーミングライツの活用 ⑦　クラウドファンディングの検討・実施

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
○	○	○			○

スケジュール

事業番号	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
①②③④⑤⑥⑦	継続的に実施									


2025.５月号　忍者鉄道通信

５月３日（土・祝）「伊賀線まつり2025」大盛況でした！

５月３日（土・祝）に「伊賀線まつり2025」が伊賀鉄道上野市車庫にて開催されました。
定番の軌道自転車体験や運転シミュレーション体験、新コーナー「洗車体験」のほか、出店している鉄道各社から難問・珍問を集めた「鉄道クイズショー」など多種多様な催しが行われました。前日は大雨で心配されましたが当日は快晴となり、過去最高タイとなる3,500人の方にご来場いただき、会場や周辺は大変多くの人で賑わいました。
今回は、その「伊賀線まつり2025」の様子を写真でお届けします！

Q 忍者線クイズ

伊賀線は1916年に開業し今年で109年となります。そこで109（トーキュー）にちなんで。
現在、伊賀線を走っている東急車両に関する問題です。
伊賀鉄道のそれぞれの車両の前面をよく見ると、車両によって窓やライトの形が異なることに気づきます。では、この形の違いはなぜ発生したのでしょう？

①車両デザイナーの意向で、様々な形の車両をつくりたかったから。
②余っている車両を各地から寄せ集めたら、バラバラの形になってしまった。
③伊賀鉄道に来る際に様々な改造をした結果、バラバラの形になった。

こたえは裏面へ→

忍者鉄道通信（2025 年 5 月号）



伊賀線ギャラリー列車の運行

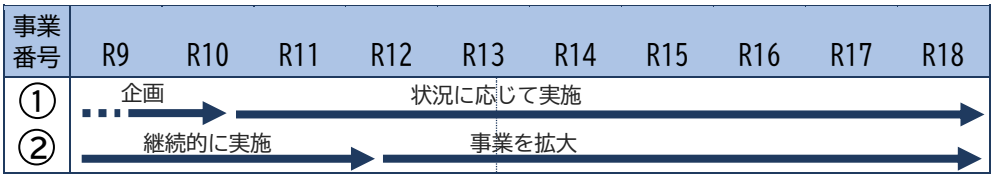
施策目標２－３　地域公共交通に対する地域や企業・団体等との連携強化

施策９	バス交通の支援・魅力づくりの継続・強化
施策概要	路線バスが単なる移動手段でなく、伊賀市の重要な資源であることを市民の方に認識してもらえるよう利用促進や魅力づくりを進めます。
事業	①　バスイベント等の企画・実施 ②　バスの乗り方教室の開催

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
○	○		○		○

スケジュール





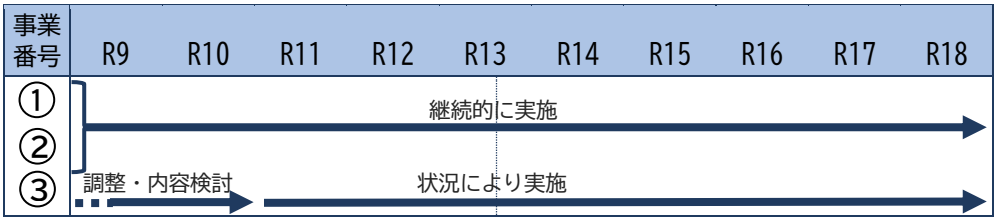
バスの乗り方教室の様子（青山小学校）

施策 10	小・中学生や高校生を対象としたモビリティ・マネジメントの展開
施策概要	若年層のうちから公共交通に触れる機会を積極的に増やし、大人になってからも利用してもらうため、小中高生に向けた「モビリティ・マネジメント」を実施します。
事業	①　伊賀鉄道通学定期券等購入費助成制度の実施 ②　高校生との連携によるイベント企画・実施 ③　小中学校におけるモビリティ・マネジメント教育の実施

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
	○	○	○		○

スケジュール



事例　滋賀県甲賀市の交通環境学習

甲賀市では、市の職員・公共交通運行事業者が学校に伺い、実際のバス車両を学校に持ち込む出前講座や、電車の乗り方の座学や実習等を行っています。

乗車体験や乗車マナー、切符の買い方等を学習できる教材などを通じて、各学年の授業のねらいに合せた学習を展開しています。



鉄道すごろく



車椅子での乗車体験

出典：甲賀市ホームページ

施策 11	市内事業所を対象としたモビリティ・マネジメントの展開
施策概要	現在のマイカー利用から公共交通への転換を図るため、市内事業所へのモビリティ・マネジメントを実施します。
事業	①　利用促進活動の実施 ②　企業等との連携強化

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
	○	○	○		○

スケジュール

事業番号	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
① ②	継続的に実施									

事例　岡山県岡山倉敷都市圏におけるモビリティ・マネジメント施策

岡山国道事務所、岡山県、岡山市、倉敷市が連携し、渋滞緩和や CO２排出量の削減等、クルマに頼らないまちづくりを目指して、事業所に対し、公共交通や徒歩、自転車での通勤を、専用ホームページ、チラシ、デジタルサイネージ等により幅広く呼び掛けています。

参加事業者は、健康ポイント等の付与や、アワード表彰等による地域貢献活動 PR といった特典があります。



事業所向け資料

出典：スマート通勤おかやまホームページ

基本方針３ ｜ 分かりやすく、便利な、利用につながる公共交通サービスの充実

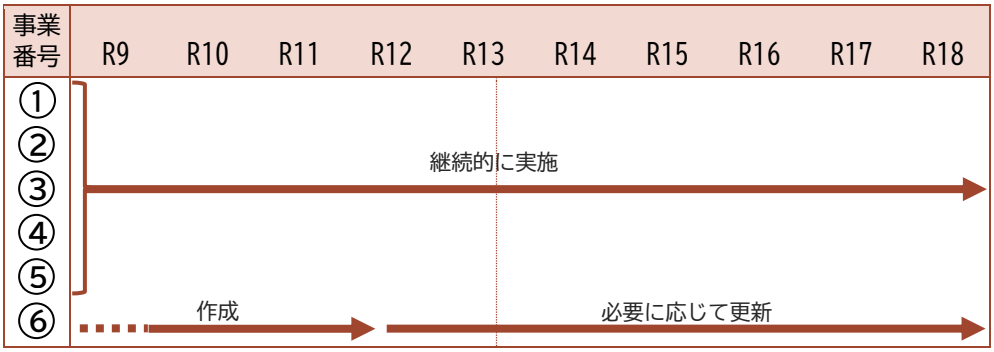
施策目標３－１　利用しやすさの向上に向けた分かりやすい路線・乗換案内の充実

施策 12	分かりやすい情報の発信
施策概要	利用に向けた認知度の向上や利用する際の不安解消のため、分かりやすい情報の発信に取り組みます。
事業	①　わかりやすい時刻表・案内板の作成 ②　外国人や観光客のため多言語化 ③　GTFS-JP データ整備による検索対応 ④　リアルタイムの運行情報発信 ⑤　SNS や動画等での情報配信強化 ⑥　伊賀市公共交通マップの作成

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
	○	○	○		

スケジュール





コミュニティバス「にんまる」の位置情報の発信

施策 13　利用しやすい運賃制度の構築

施策概要

誰もが利用しやすい公共交通を目指して、利用しやすい運賃制度を検討します。

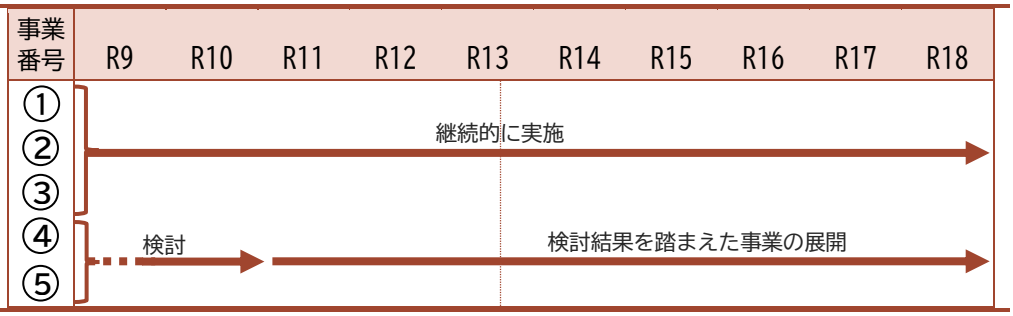
事業

① 観光利用の１日フリー券の利用促進
② 回数券・定期券等のデジタル化
③ 交通系 IC カードの販売促進
④ タッチ決済や QR コード乗車券方式の導入検討
⑤ こども・学生への移動支援の充実

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
	○	○	○		

スケジュール





アプリで購入・利用できる伊賀鉄道一日フリー乗車券

施策目標３－２　乗り継ぎしやすさの向上に向けた便利な乗継環境の充実

施策 14	乗り継ぎしやすいダイヤ設定
施策概要	公共交通の乗継待ちの負担を軽減するため、乗り継ぎしやすいダイヤ設定を検討します。
事業	①　利用者調査等による乗継しやすいダイヤへの改正 ②　他線のダイヤ改正に合わせた調整 ③　バスと鉄道の乗継改善

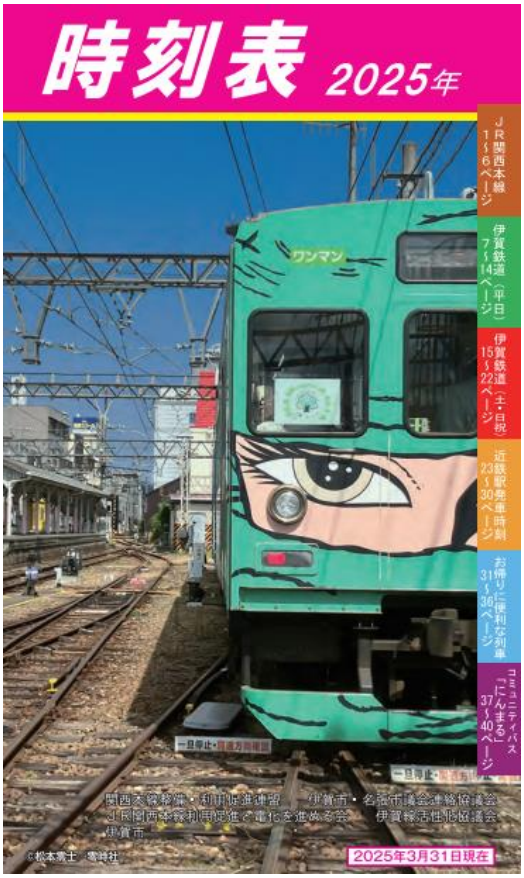
事業主体

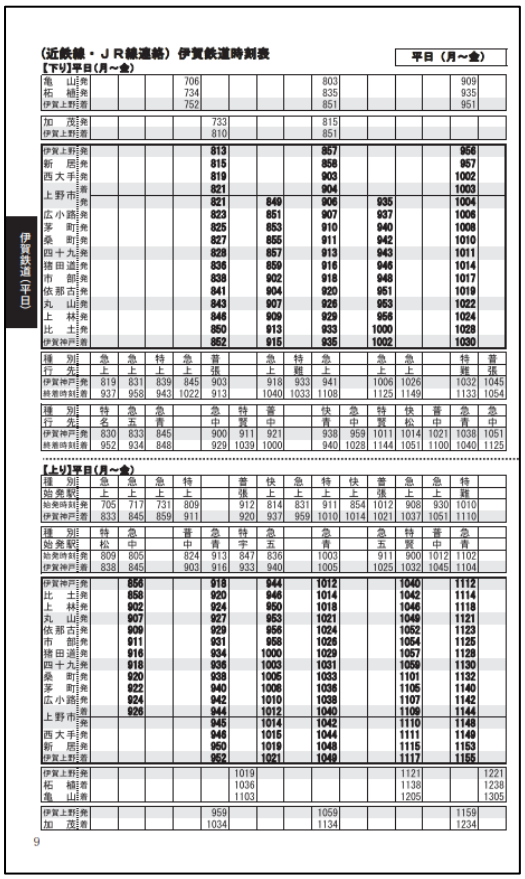
市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
	○	○	○		

スケジュール

事業番号	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
① ② ③	継続的に実施									

令和７年春のダイヤ改正に合わせ、鉄道各路線の連絡時刻がわかるポケットサイズの時刻表を作成しました。





ポケットサイズ時刻表 2025 年春改正版

施策 15	鉄道駅の結節機能の向上
施策概要	駐車場や駐輪場の整備、通勤通学での利用を考慮し、鉄道駅の結節機能の向上に向けた取組みを検討します。
事業	①　パークアンドライド駐車場の利用促進と新たな整備検討 ②　既存駅の駐車場や駐輪場の管理 ③　通勤・通学バス導入に向けた取組み ④　駅の待合環境の向上

事業主体

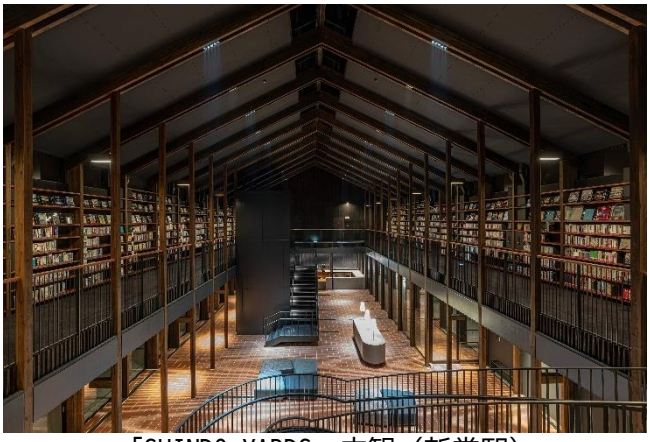
市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
○	○	○	○		○

スケジュール

事業番号	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
① ② ③ ④	継続的に実施									

DMG 森精機株式会社が新堂駅前に整備した複合施設「SHINDO YARDS」は、図書館や行政窓口等を備え、駅利用者の利便性向上や快適な待合環境の創出に寄与しています。
他の駅においても待合環境の向上に取り組み、駅の魅力向上や交通結節機能の強化を図ります。


「SHINDO YARDS」外観（新堂駅）


「SHINDO YARDS」内観（新堂駅）

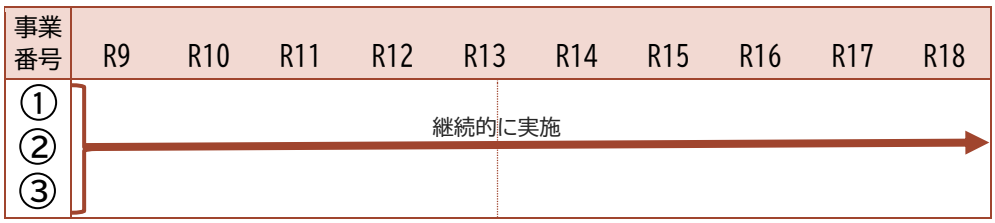
画像：DMG 森精機株式会社 提供

施策 16	安全・安心・快適な利用環境整備
施策概要	誰もが安心して利用できる公共交通を目指して、バリアフリーや安全対策等に取り組みます。
事業	①　駅・車両のバリアフリー化、安全対策 ②　駅周辺の環境整備・防犯対策 ③　駅舎の利活用の検討

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
○	○	○	○	○	○

スケジュール







駅舎の美化活動（茅町駅）



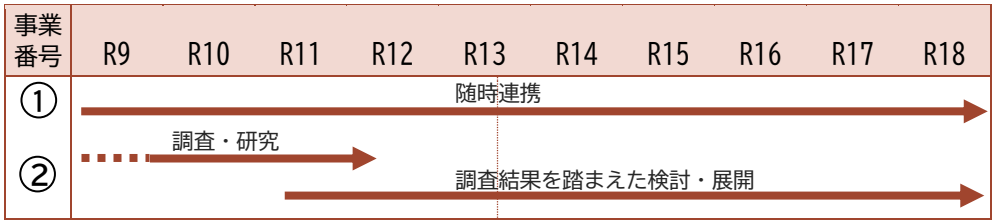
駅の多目的トイレの整備（茅町駅）

施策 17	二次交通の充実による公共交通の利用促進や利便性向上
施策概要	二次交通との連携によるきめ細やかな交通サービスを構築し、利用しやすい公共交通に向けて取り組みます。
事業	①　シェアサイクル等実施事業者との連携 ②　グリーンスローモビリティの調査・研究

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
	○	○	○	○	○

スケジュール



事例　鳥取県倉吉市　グリーンスローモビリティの運行

鳥取県の倉吉市では、地域住民の暮らしやすさと、観光客の周遊・滞在の利便性向上に向けたグリーンスローモビリティの本格運行を令和７年７月より開始しました。

平日は買い物や通院に利用できるルート、土日祝日は観光スポットを中心としたルートで運行しています。



グリーンスローモビリティ車両

出典：倉吉市ホームページ

施策目標３－３　地域公共交通で外出しやすい利用につながる環境づくり

施策 18	高齢者等への移動支援の充実
施策概要	利用が多く見込まれる高齢者等を対象として、公共交通を利用しやすくなるような移動支援に取り組みます。
事業	①　免許返納者など高齢者への運賃支援

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
○	○	○	○	○	○

スケジュール

事業番号	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
①	継続的な実施									

伊賀市では、運転免許証返納者に対する外出支援サポート制度を設けています。運転経歴証明書をお持ちの方は、三重交通が運行するバス路線の運転免許返納割引定期乗車券（セーフティパス）や、運転免許返納割引が利用できます。



運転免許返納者への外出支援サポート制度チラシ

施策 19　タクシー事業者との連携強化

施策概要

タクシー事業者と連携して、持続可能な公共交通サービスとして維持できるように取り組みます。

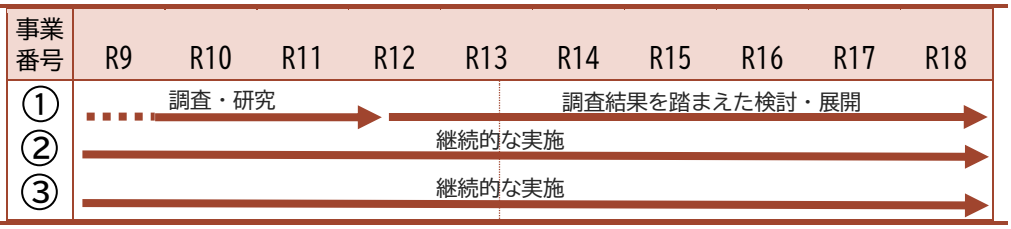
事業

① 新たなサービス（アプリ、配送等）の調査・研究
② 日本版ライドシェアの導入の検討
③ 交通空白地の解消（夜間の交通手段確保の検討等）

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
	○			○	

スケジュール



施策目標３－３　地域公共交通で外出しやすい利用につながる環境づくり

施策 20　新たなモビリティサービスの積極導入

施策概要

MaaS を推進する体制づくりや新たなモビリティサービスの導入可能性を検討します。

事業

① MaaS に関する調査・研究
② 自動運転サービスなど新たなモビリティサービスの導入検討

事業主体

市民・地域	伊賀市	鉄道事業者	バス事業者	タクシー事業者	企業・関係団体等
○	○	○	○	○	○

スケジュール

